

# おみくじ

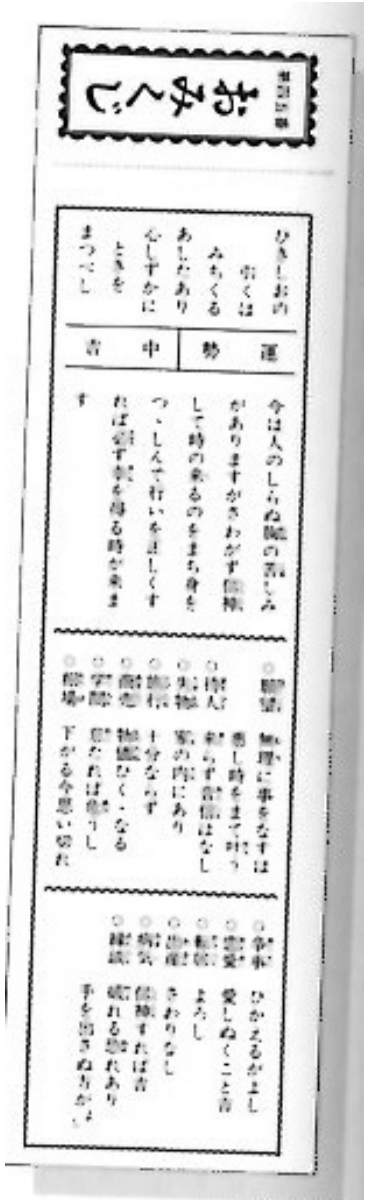
2010.12.25a

札幌たのしい授業・研究サークル用レポート

仮説実験授業研究会・北海道

丸山秀一






**【質問】**

あなたは「おみくじ」を引いたことがありますか。そこにはどんなことが書かれていましたか。「おみくじ」の思い出を出し合ひましょう。

子どもの頃、ボクは神社が経営する幼稚園へ行っていました。そこには、自動販売機式のおみくじがあって、その後、何度か引いたことがあります。

第三 凶			
			
閑慮學時長	雖然防小過	青霄一炷香	愁惱損忠良
しづかにおもひはかり つすまじと也	されども少しのあやま ちをよせぎて身をつ しみ	こゝろざしの通じがた きをたどへは大それ むかつて香をた たきせしほど也	忠義をつくしてもそ にうれへなやむなり にうれへなやむなり
<p>●此みくじは賢者も時にあはず志をうしなへるかたち也 天道をしんじ八まんをいのりてよし病人長引とも命にさ はりなししいやかへずして神明に祈りてよし○待人おそ しきさの仕合半吉也○そせう事かなひがたし○うせもの 急に出がたし○應對あらそひはじめはあしく後吉○屋つ くりわたまし半吉八まんをまつりてよし○たびたちあし く○生死は十に七八まで死すべし○賈買どもに利なし</p>			

■おみくじ

おみくじとは、「くじ」に、個人  
の運命を神仏に問うことから、  
尊敬を表す「み」が頭についたも  
ので、それをさらに丁寧にして  
「おみくじ」と言われているもの  
です。

たいていの神社やお寺には、お  
みくじがあります。おみくじの引  
き方は、一般的には、「御籤の筒  
から番号のついた棒を取り出し  
て、その番号の御籤を得るもの」  
ですが、「たくさんの御籤の山か  
ら、自分で選ぶもの」や、自動販  
売機によるものまであります。

おみくじの内容は、寺社によっ  
て様々です。でも、伝統的なおみ  
くじは、まず、運命が、漢詩と共  
に「第○番大吉(吉, 中吉, 小吉,  
凶など)」と書かれているのが一  
般的です。

図は「第三番 凶」のおみくじ  
の例です。

しかし、こうした伝統的なおみくじは、わかりにくいものです。そこで、最近では、若者向けに、こうした伝統には捕らわれない形式のおみくじがあちこちで見られるようになりました。でも、しばらく、伝統的なおみくじについて調べていきましょう。

### 【問題】

こうした番号のついたおみくじは、いったい何種類=何番まであるのでしょうか。

予想

- ア まったくバラバラでなんともいえない
- イ だいたい 20~30
- ウ 50 ぐらい
- エ 100 ぐらい
- オ もっと多い

■おみくじの結果の種類

寺院などの伝統的なおみくじは、この番号が「百番」まであります。しかし、神社でのおみくじは、諏訪大社で 50 番、住吉大社で

第一大吉			
七	高	衆	莫
寶	峯	人	作
浮	頂	皆	等
圖	上	仰	閑
塔	安	望	看
しつぽうはたからふと とはたうなり、 しつぽうにてつくりたる たうのいせなることし	たかきみねにまきたう をすえてゆるみすて 立ちたるおごととなり	人々このたうを見て、 きてもまきたうがたと ほめてながむるなり	なほざりにはみられま し夫人ならはしよほど 大吉なり

○ぐわんあり十分につふべー○病人本がくすべし○待人來るべし○うせもの  
出れどもおふー○やぶくりてんたくよめとり、むことり、たびだち人を  
抱へる方よし○万事つしむべしゆだんあらはわざわいあるべし

浅草寺の「第一大吉」(ボクが引いたときは凶だったが・・・)

36 番というように、種類が少ないものも多く、北野天満宮と太宰府天満宮、平安神宮、春日大社では 15 番までしかありません。

実は、日本の伝統的なおみくじのルーツは「元三大師御籤」とか「観音御籤」と言われているもので、これらの御籤は百番から構成されているのです。

### 【問題】

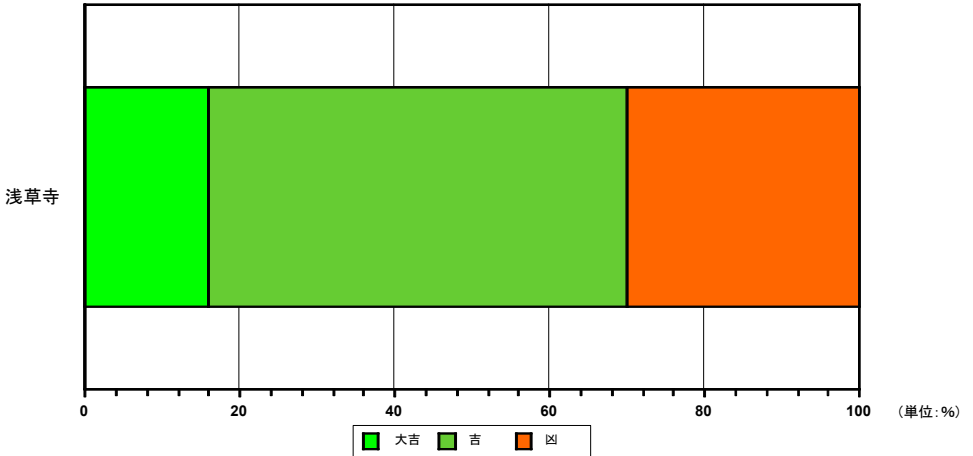
では、百番のみくじのうち、一番多い占いは、なんなのでしょう  
か。大吉、吉、凶と大きく分けて考えてみましょう。吉には、おみ  
くじによって、半吉、小吉などいろんなものがありますが、それら  
はまとめて「吉」とし扱うことにします。凶にいくつか種類がある  
ときも、「凶」として扱います。

予想

- ア 大吉
- イ 吉
- ウ 凶
- エ なんともいえない

## ■元三大師御籤

元三大師御籤を使用している浅草寺のおみくじで調べてみると、



大吉 16%，吉 54%，凶 30%となります。

しかし、元三大師御籤ではない、神社のおみくじを調べてみると、随分と吉凶の比率に違いがあることがわかります。「凶が入っていない」というおみくじも

少なくないのです。良い占いをもとめるなら、オススメは宇佐神宮（写真、大分県）でしょうか。

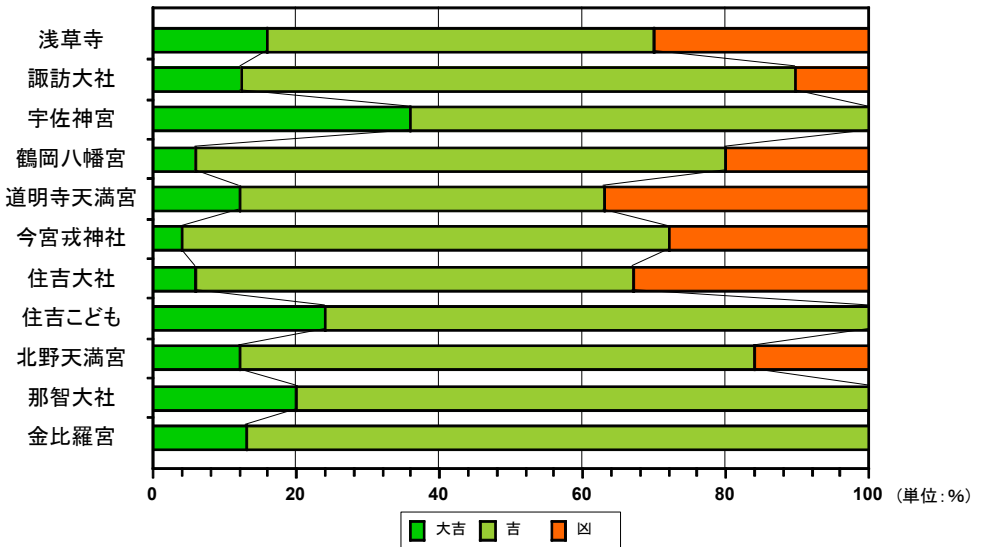
もっとも、板倉聖宣先生は「おみくじは、凶が一番良い。それ以上悪く



なることはなく、これから良くなるだけなのだから」と言っています。



浅草寺のおみくじは「凶が出やすい」ということで有名ですが、道明寺天満宮（大阪，写真）は、さらに凶の比率が高いです。



どこのおみくじを引くべきか



【問題】

では、日本のおみくじのルーツである元三大師御籤について調べてみましょう。このおみくじは、いつからあるのでしょうか。また何が元になっているのでしょうか。発祥は日本なのでしょうか。

まず、日本で、このおみくじが登場したのは、いつの頃だと思いますか。

予想

- ア 平安時代
- イ 鎌倉・室町時代
- ウ 江戸時代
- オ そのほか

発祥の地は日本でしょうか。

第三十二吉			
似玉藏深石	休將故眼看	一朝良匠別	方見寶光寒
玉の蔵とよかく 石についでまればあらはれぬなり	されども此玉を心を思はしつ相のまじりをも もつてみることをやめよとなり	あるまじき玉にあらば此石の 中に玉のつまればあまんとそわかつ	此玉のついでにみればあけたらば は下の玉のひかりをみんとなり
此みくじは、はしめくちありてのちほし。病人なればびく、匠者をかへてはし 思はぬことにはほふくす。悦も思はぬ方であり、失物もおなり。幸ひ かつべし。まぢ人をぞい、うりかひよし。			
奈良大仏殿			

奈良大仏殿



大阪の空中庭園神社でのおみくじ

御籤筒から出た番号の紙を取る方式。  
「恋みくじ」だけあって、漢詩ではなく、  
「恋の歌」になっている。

<p>恋の歌  <small>作せの</small>          満ちて          あふれて          恋の花          咲いて          いとしい          バラの花</p>	
<p>愛情運</p>	
<p>恋の花開いて、二人の愛は甘く、作せに満ちあふれる日目が待っています。やさしい気持ちで相手を包むことが大切です。自分を大切にしてください。特に健康と交通事故に注意しましょう。</p>	
第二番	中吉
<p>方位 北東か西の人がよい。</p>	<p>星 乙女座、牡羊座、射手座がよい。 A型が最もよい。B型でもよい。 少し差があるほうがよい。 辰生まれが最高。次いで申、戌がよい。</p>
<p>字問 毎日の学習計画をたて、几帳面にやれば良い結果がでる。</p>	<p>縁談 近いうちに必ずある。目上の人によく相談して決めなさい。 あせらずチャンスを持ちましょう。</p>

## ■ 発祥の地

元三大師御籤に漢詩が使われていることから予想できるように、この伝統的なおみくじの発祥の地は中国です。中国の人は、昔からおみくじが大好きだったようです。それは、きっと、古代中国で作られた「易」による影響でしょう。「易経」は、細い竹を使用する占いの書で、その中心となる思想は、古代中国の哲学・宇宙観です。

しかし、易は、簡単なものではありません。庶民は、もっと簡単な占いを求めていました。南北朝（439-）から隋（581-）、唐（618-907）の時代に、中国で世界初めてのおみくじ本である「梵天神策経」が登場しました。これは「梵天（ブラフマン）が、釈迦から〈吉凶を知るための詩百編〉を作る許可を得て作った」と言わ

れているもので、内容には仏教の影響が濃く現れていました。

しかし、現在では、このお経は、インドから伝わったものではなく、中国で作られたものであるとされています。

おみくじは、中国で流行し、道教を元にした「十二真君の靈籤」も登場しました。こうして、おみくじから仏教の影響が薄れていき、庶民的なものへととなっていく、南宋の時代（1127-1279）には、「菩薩籤」や「天竺靈籤」が登場しました。天竺とは、寺



天竺靈籤第 33 首

の名称で、このおみくじは、科挙の受験者に人気がありましたが、



定永 16年録の観音籤筒（岩手・天台寺蔵 写真提供・岩手県立博物館）

女性にも大変人気がありました。というのも、このおみくじには、字が読めなくても困らないように、内容を表す絵がついていたからです。

そして、この天竺靈籤が日本に伝わったのです。日本に伝わった時期は、はっきりしませんが、室町時代の天台寺に、天竺靈籤の籤筒（写真）があったことがわかっていますので、それ以前に伝わっていたことは間違いありません。

### 【研究問題】

中国の伝統的なおみくじは、日本のおみくじと、違うところがあります。それはなんだと思いますか。

予想

- ア 吉凶の比率が違う
- イ 罰を与える籤がある
- ウ 「もう一度」とか「不明」という籤がある
- エ そのほか

## ■ 罰籤

中国の昔のおみくじには、「罰くじ」と呼ばれるものがありました。それは、「運が悪いから、寺院に、油や香を捧げなさい」という内容のものです。



ると、清は各地に孔子を祭る文廟と、関帝を祀る武廟を建立しました。その結果、庶民も関羽を神として崇めるようになりました。そこで、作られたのが、関帝靈籤です。

現在の中国では宗教に不寛容ですが、関羽信仰は、香港（正義の

明の時代の末期、『三国志』にも登場する関羽が「三界伏魔大帝神威遠鎮天尊関聖帝君」として神格化されました。清の時代にな



享保年間（18世紀はじめ）になると、中国から伝わった関帝籤を和訳したみくじ本があらわれ始めた。第19首は、新井白石が娘の嫁入りに際して、妻に袖かせたくじである（『万事古因天籤附考百籤』）

象徴として警察署で祭っている)や台湾で絶大で、世界各地の中華街にも関帝廟があります。

関帝靈籤は、日本にも伝わりましたが、今では、中華街で見られるだけになってしまいました。しかし、中国の人たちには、一番人気のあるおみくじと言っても良いでしょう。

さて、もちろん日本にも、古代からおみくじはありました。しかし、平安時代まで、おみくじとは「占うものが目的に応じて、自ら籤を自作する」というものでした。しかし、いちいち、籤を自作するのは面倒です。そこで、平安時代末期には、和歌などをお告げとして占う「歌占い」に替わっていきました。当時「歌には神秘的な力がある」と考えられていたこともあります。

### 【問題】

天竺靈籤が日本に伝わってきても、それが広まることは、ほとんどありませんでした。しかし、江戸時代になって、天竺靈籤は、「元三大師御籤」と名前を変えて、大流行することになります。では、「元三大師」とは、誰のことなのでしょう。

予想

- ア 強い武将
- イ 法力のある僧侶
- ウ 外国人
- エ そのほか

## ■元三大師



元三大師とは、平安時代に天台宗の最高位の僧、良源のことで、1月3日に亡くなったことから「元三大師」と呼ばれています。良源は、「霊力がある」として「観音の生まれ変わり」と信じられ、「鏡に映った姿」を模したという「角大師」(図)の肖像は、病魔退散の魔除けとして、大変な需要がありました。

では、彼が江戸時代に、どのようにおみくじと結びつけられたのでしょうか。それは、江戸時代の天海によるものでした。

天海は、天台宗の大僧正で、徳川家康の側近として、幕府初期の政策に深く関わった人物です。天海は、良源を尊敬し、自らを「良源の生まれ変わり」と自負していました。天海の弟子の著作には、次のように書かれています。「天海がある夜、寝ていると、夢で良源のお告げがあった。それは、観音籤の在処を伝えるもので、実際にそこへ行ってみると、百編の籤が見つかり、それを元に観音籤を作った」そうして作られたのが観音籤=後に「元三大師御籤」と呼ばれるものだったということです。

戦乱の時代が終わり、江戸時代となって、寺小屋などの普及で、

人々は、文字を読めるようになってきていました。そして、高級品だった紙も、次第に潤沢に供給されるようになってきていました。また、人々の気持ちを、おみくじの方へ集めたい何か事情があったのかも知れません。

しかし、有名な元三大師と結びつけた天海の話は有名となり、『元三大師御籤』の解説本は出版ブームとなりました。また、江戸時代の生活百科である『大雑書』にも、その解説が載せられていました。

### 【問題】

元三大師御籤は、こうして天台宗のおみくじとしてスタートしました。では、天台宗以外の宗派や、神社も元三大師御籤を使用したのでしょうか。

予想

- ア ほとんど元三大師御籤を使った
- イ 神社では使われなかった
- ウ あまり使われなかった

おみくじを出さない宗派はあるのでしょうか。



■ 観音籤

「元三大師」では天台宗以外の宗派には、問題があったのでしょ  
う。多くの寺院は「観音籤」という名称で「元三大師御籤」を使用  
したのです。それは、神社でも同じで、名称こそ違えど、元三大師  
御籤を流用していたのです。



「法華経御開靈籤」第69籤。籤文は「法華経」(法華經)の一部をとったもので、挿絵は將軍足利義満へのいさめのため約した大鍋をかぶせられた室町時代の僧、日親(鍋かむり日親)であろう(天保3(1832)年)

しかし、自らの宗派にこだわるところもありました。それは、日蓮宗で、近松門左衛門との合作で作ったり、法華経のお経そのものを入れておみくじを作っていました(図)。

また、親鸞が占いを禁止していたため、浄土宗や浄土真宗系の寺には、おみくじはありません。

これらの御籤に特徴的なのは、「ラッキーアイテム」としての「道具」という欄があることです。そして、初期の御籤には、武具などが多く、次第にそれが生活用品へと変わってゆくのがわかります。おそらく、

こういったおみくじを引いたのは、最初の頃は、文字が読める武士や僧侶などが大半だったのでしょう。それが、大衆のものへと変わっていったのです。

【問題】

では、元三大師御籤は、仏教系の籤ですから、信仰対象としているのは、釈迦などの仏でしょうか。それとも、違うのでしょうか。信仰対象として記されているのが、一番多いのは、何だと思えますか。

予想

- ア 釈迦
- イ 観音
- ウ 釈迦、観音以外の仏
- エ 仏教に関係のないもの
- オ そのほか



太宰府天満宮  
道真の歌が入っている

## ■信仰

おみくじの解説欄に書かれている信仰対象で、一番多いのは、「天道」で 84 首に言及されています。次は、観音の 50 首、以下、神明 27 首、日待（日の出を拝む）19 首、月待 19 首、年神 9、弁財天 9、八幡 8、大黒 4、庚申待 3、七夜待 3、氏神 2、愛宕 2、日月 2、毘沙門天 2、薬師 1、千手観音 1、十七夜 1、三日月 1、大般若心経 1 となっています。

つまり、内容は仏教ではないのです。だから、神社でも使えるというわけです。天道とは、太陽信仰であり、武士にとっては天下支配の理論的根拠であったと言います。このように、中国伝来の天竺靈籤は、日本独特のものとなったのです。

ただ、元三大師御籤は、後期のものになってくると、その内容が変化し、天道が信仰対象となるものが減って行き、その代わり、「処世訓」が増え、「正直、誠を尽くす、儉約、根気」などが求められるようになっていきます。さらに、そういう努力の結果も「金銀財宝、家が富み栄える、立身出世」という現世利益として語られるようになっていきます。こうして、おみくじは、「他力本願」から「自力本願」へと変化していったわけです。

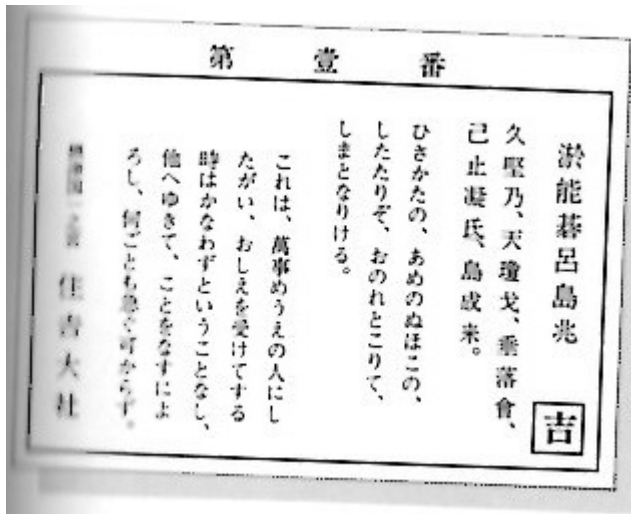
仏教は、死後の世界の救済のための宗教です。だから、現世利益を求める考えは、もはや仏教ではありません。

【問題】

先に見たように、現在の多くの神社のおみくじは、もはや元三大師御籤を使っていません。それは、いつ頃からのことなのでしょうか。

予想

- ア 敗戦後
- イ 明治維新後
- ウ そのほか



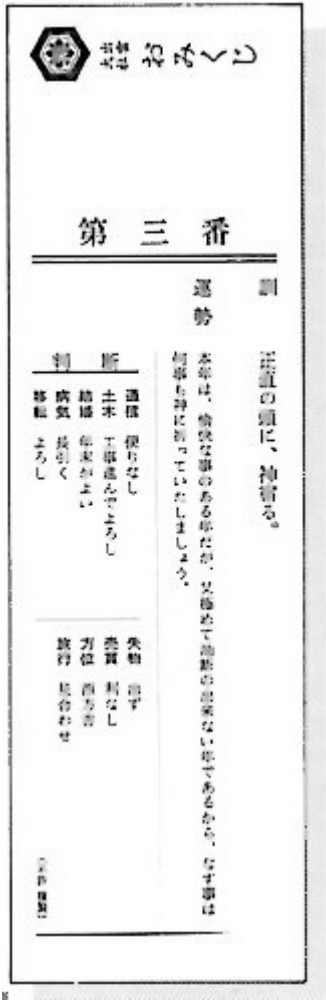
■ 廃仏毀釈

それは、明治新政府が慶応4年3月13日に出した「神仏分離令」がきっかけでしょう。神仏分離令は、「神道と仏教の分離」が目的であり、仏教の排斥を意図したものではありませんでした。しかし、それまで僧侶の下に置かれていた神官や、寺請制度で寺院に管理されていた民衆が、寺院の破壊活動を行ったのです。薩摩藩では、1600の寺が潰されたと言います。

神社に於いても「仏教的要素の払拭」が求められ、仏教が起源であるおみくじも用いられなくなったのです。そして、神社は、独自のおみくじを開発していきます。大きな変化は、漢詩を使うのをやめて、万葉集の和歌、菅原道真の歌、天皇の歌などを使うようになったことです。

明治神宮は、敗戦後に天皇の歌を入れたおみくじをだしましたが、それには吉凶が入っていないのも、おもしろいところです。

寺院のおみくじと比べて、神社のおみくじの方が現代的でわかりやすい感



(出雲大社)

じがするのは、明治の時に作り直されたからなのです。

【問題】

さて、こうした神社の「和歌おみくじ」には、「詠み人」が明らかにされていないものがたくさんあります。これらの和歌の作者は、いったい誰なのでしょう。

予想

- ア わからない
- イ おみくじを作っている会社の人
- ウ 一般のひと
- エ そのほか



住吉大社「こどもおみくじ」



### ■おみくじ製造会社

日本には、おみくじを作っている会社が数社あり、そのうち、7割のシェアを誇るのが、山口県の女子道社です。女子道社は、明治 39 年に二所山田神社の宮本重胤宮司が大日本敬神婦人会

を設立し、機関紙「女子道」を創刊、その発行費捻出のためにおみくじをつくり始めたのが元です。おみくじの自動販売機も、この会社が開発し、製造販売しているものです。

そして、そのおみくじに使われている和歌は、宮本宮司とその次代宮司か、「1000 年を越える奉仕神社の杜に夜々に潔斎をしてこもりつつ、神前に御祈願をこめ、ご啓示をたまわって書き上げた」とのことです。

印刷は、外注で、女子道社では、現在も、18 種類あるすべてのおみくじを手で折って仕上げています。1000 折で 3 円 00 円です。100 折 1000 円の「万葉みくじ」は、高いですが、「大吉と中吉しか入っていない」という「お買い得さ」です。

【問題】

「おみくじの引かれる数，日本一」は，どこの寺社でしょうか。

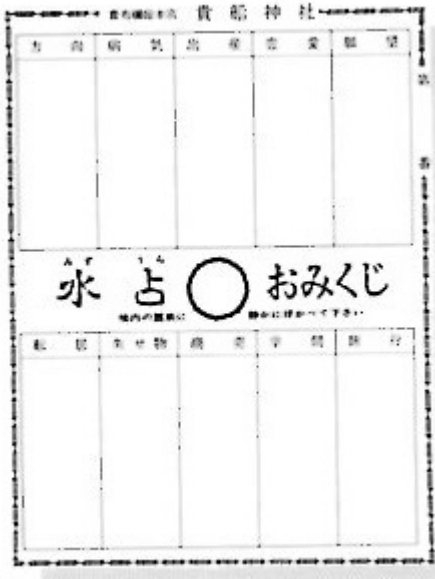
予想

ア 明治神宮

イ 清水寺

ウ 浅草寺

エ そのほか



水に入れると文字が浮き出る。貴船神社のおみくじ



# 恋占い おみくじ

えんむすびの神

## 京都地主神社



### 第41番 末吉

#### 運勢

このみくじに当る人は、現状のままでは、どうにもならない。なんとかウマイ方法を考え出してこのカベを突き破らなければならぬ。しかし必要以上に進み過ぎてもいけない。ほどほどにすること。

#### 金運

ふつうの事を静かに守っているのが良い。野望を出しては大凶。時には人が意地悪でかくすこともある。

#### 失物

小さな旅行なら支障はない。待人のんきに道草をくいながらやってくる。

#### 旅行

不自然な私たちになりやすく、あまり長続きしないだろう。良縁祈願を続けながら静かに時節を待つが良い。不調に終る。たとえ話がすすんでも将来にクイを残すことが多い。思いとどまるほうが良い。

#### 恋愛

縁談

縁談

良いおみくじはお持ち帰り下さい

### ■おみくじ日本一

それは、京都の地主神社といわれています。この神社は「えんむすび」で有名で、いつも修学旅行生などで混み合っています。

このおみくじには、もはや歌などは入っていません。現代の若者の多くは、「恋の行く末」を知りたくておみくじを引くのでしょう。そのため、多くのおみくじが恋愛に特化したものになっています。

多くの人が、おみくじをひいたのしむのは、それが、もはや宗教とは関係のない確率的なもの=「運試し」になっているからでしょう。

仮説実験授業関連でも、「なみだくじ」というおみくじみたいなもので、読む人を決めたりしています。

おみくじは、そういった「遊び」なのです。妖怪退治に努力した井上円了は、占いから神秘的なもの

を排除しようとして「哲学占い」を作り上げましたが、全く受けいれられませんでした。

豊川 第一番 大吉	
<p>▼判してわく、武士、出家絶じて候ある人は、大いに立身あるべし、もの頭となる人に、重くもたいるべし、但し、身を高ぶり憤みなき時は、仕損にあるべし、浪人、右同助。</p> <p>▼女は我より目上の者となれば、夫の立身する事あるべし、又、よき男子をもつる事あるべし、主人ある女は、その主によく思われ、妾などは本妻にあげらる、か、又は、我産みたる子について立身すべし、産は安からず。</p> <p>▼人の子、弟子、手代、奉公人いずれも主、親のひかりについて、その身もめめく事あり、なれども、位をふるいて、上たる人を軽しむれば難あるべし。</p>	<p style="text-align: center;"><b>七宝浮図塔</b></p> <p style="text-align: center;"><b>高峰頂上安</b></p> <p style="text-align: center;"><b>衆人皆仰望</b></p> <p style="text-align: center;"><b>莫作等閑看</b></p> <p>金銀珠玉の七宝をもち、人ならば位高き人なり、たかきみねの上にとりたれば、いよいよ尊く見申るごとなり。</p> <p>すべての人があおぎのぞみて、とつとほるなり。</p> <p>この人はなほおりにほ見られまいぞ、大夫人なり、ばいよいよ大言なり。</p>
<p>▼町人、商人よく得意を得、万事手廻しよく繁昌すべし、或は、貴人、高家へ出入りて大いに利を得る事あり、又、損失のころあり、念入に仕損ぜぬようすべし。</p> <p>▼職人、業者、医者、ものの指ぬする人名譽をあらわす時節なり、すいふんはげむべし。</p> <p>▼百姓は田畑をもうけ名主、代官などにとりたてらる、事あり、非違の人は、よろしからず。</p> <p>▼総じてこのみくじは、目上の引立てにあつて、十分の悦をつかさどるなり、十分は、やぶれの端なり、故に多くは、因とす、身分に候つて、判断あるべし。</p>	<p>▼このみくじにあつた人は、いせいつよく、万人にたつとよまる、なり、天道を信じ、日待、月待、度事待などしてよし▼朝人、長引くとも本ぶくすべし、貴僧を頼みてよし▼侍人奉る、少しおそし▼そしやう事、十分叶つ▼失物、急に出で難し、後にかえるべし▼口舌、争い難なり、十分せばあやうき理あり。</p> <p>▼家づくり、私居、元服、むこ、よめとり、旗立ちなど、すべてよし▼買ひもの利あり。</p>

豊川 稲  
荷 三御のく使  
元 師系のみをて  
大 籤おじをつる。





iphone 用ソフト「大江戸みくじ」江戸時代の元三大師御籤を復元。

## ■omikuji



うーん、今月も「やっつけレポート」です……。

前から「おみくじって何だ」と思っていたのですが、おみくじの研究は、ほとんどなされていないようで、関連する本が3冊しかありませんでした。ラッキー!

先日、修学旅行へ行ってきたので、あちこちでおみくじを引いてきました。また、仮説社に立ち寄った際、板倉聖宣先生と話していて、おみくじの話になったことも、まとめてみるきっかけになりました。

つい先日、朝 iPhone のソフトでおみくじを引いたら「凶」。しかし、その日は、なんとたのしいことばかりで、「やっぱり当たらないよなあー」と思っていたら、放課後になって悲惨なことがありました……。

そういえば、以前に修学旅行で、同僚がお金を払わずに、金閣寺のおみくじを引いたら、「凶」が出ました。ボクが「金を払わないからじゃないの」と言ったら、彼は「もう一度引いても同じだったら、信じます」とさらにお金を払わずにおみくじを引きました。そのおみくじも「凶」。しかも、「神は見ています」と書かれていて、ふたりで大笑いしたものです。

## ■ 典拠文献

- ・ 島 武史『日本おみくじ紀行』日本経済新聞社（1995/04）  
日本各地のおみくじが載っている。多くのおみくじの図版はこの本からのもの。また、各種おみくじの吉凶の割合もこの本の数値を採用した。
- ・ 中村公一『一番大吉!—おみくじのフォークロア』大修館書店（1999/12）
- ・ 大野出『元三大師御籤本の研究—おみくじを読み解く』思文閣出版（2009/04）
- ・ 「おみくじ Q&A」  
<http://www.news.janjan.jp/special/0612/0611013897/1.php>
- ・ wikipedia

## ■ オススメサイト

おみくじ図鑑 <http://mayohiga.gozaru.jp/mikuji/mikuji.html>



I wish...